

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 22日

事業所名 ふるさとの森おはな

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・ウッドデッキ等のスペースを有効活用している	・放課後等デイと時間が重なると狭い
	2 職員の配置数は適切である	○		・年休、希望休とれるようにお互いにかバーしている	・日によっては職員配置が足りないこともあるが、利用児のグループ分けで工夫をしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・光触媒除菌・脱臭機を全ての部屋に設置、エアコンクリーニング実施、床暖設備	・毎回掃除、点検を行う
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・必要に応じてミーティングの中でどのような接し方をすべきかを話し合っている	・時間を決めてミーティングを行う
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・事業所の評価をしていただいている、保護者の意見等は職員会議、ミーティングを通して周知している	・保護者からの意見を全員で周知を行い、改善方法を話し合い、より良い支援に繋げる
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年2月にホームページに掲載している	・集計に時間を要するので早目にアンケートを実施したい
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者による外部評価は行っていない
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・研修報告、資料回覧などは職員会議やミーティングで行う ・専門職の振り返りは毎回行う	・今後も研修に参加して知識を深めたい
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・個別面談を実施し計画作成している	・保護者の要望と子どもの様子を相対的に判断し、適切な支援内容を作成できるように努めていきたい
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		・現在標準化されたアセスメントツールの使用はしていない。専門機関での情報を活用させて頂き、支援に生かしている。全職員が各ツールについてさらに理解を深め、有効に活動できるようにしていきたい
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			・より具体的に適切な支援内容を設定できるようにしていきたい
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・個人の支援計画内容を全員が把握できるように、計画書の回覧を行っている。	・より良い支援が提供できるように今後も全員で現状の確認と今後の支援方法を共通理解する必要がある
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・計画を立てる際に他職員と相談する時間を設けている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・活動が同じでも内容を変えて取り組む等の工夫を行っている	・今後も色々な活動を取り入れて固定化しないようにしたい
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			・今後も個別活動の充実を高めていきたい
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝のプレイルーム等のセッティングやミーティングにて最終確認を行う	・良い支援が提供できるように職員間のコミュニケーションを大切にしてい
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・それぞれの職員からその日の子ども様子をお互いに出し合い、子どもの様子の共有を行っている	・全体での振り返りができるように時間を設定していきたい	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	・毎回、分担し個別の記録をとっている(活動面、生活面)	・支援の検証、改善につながる記録になるように内容等の見直しをしていく
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	・半年に一回以上見直しを行い保護者の同意を得ている	・全職員での共通理解も深めてより良い支援を提供したい
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	・日程調整し毎回、参加している、複数職員が参加する場合もある	・他職員への引き継などもさらに充実させたい
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	支援が必要な家庭においては、こまめな情報交換を心掛けている	・見学児は保健師の案内がある。連携の必要な利用児に関しては連携をとっているが全てではない
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	・必要に応じて園と日程調整し、利用児の情報交換会を行っている	・積極的に意見交換会を行っていききたい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	・移行シートを作成し保護者より学校へ提出するように促している	・積極的に意見交換会を行っていききたい
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	・研修や見学会等は時間を調整して参加するようにしている	・多くの職員が参加できるように日常業務を整えていききたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	・園に在籍している利用児が多い	未就園児の利用がある場合は、交流の機会も考えていききたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	・日程調整し毎回、参加している	・多くの職員が参加できるようにしていきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	・面談や連絡帳を利用しコミュニケーションをとるようにしている	・面談だけでなく普段から相談しやすい環境を設定する
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・現段階では専門的なペアレントトレーニングは行っていない
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	・毎回契約時に責任者が説明を行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	・同意を得ている	・理解、同意を得る為、本人、保護者へ解りやすく説明ができるように毎回努力が必要
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	・その都度相談に応じている ・定期的に面談も実施している	・気軽に相談できる環境づくりや発信の仕方も検討が必要。 ・今後も適切な助言ができるようにしていきたい
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	・就学説明会、懇談会を毎年実施している	・今後も多くの方が参加できるように工夫する
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	・時間調整を行い、本人、保護者の同意の元早い段階で対応している	・保護者の相談にしっかり寄り添うことができるようにしたい
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	・毎月お便りを発行 ・年間計画、月案もその都度発行	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	・知り得た個人情報仕事以外では口外しない様周知を行っている。 ・シュレッダー処分	

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	・視覚情報の活用を行っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	・法人での行事では幅広く地域の参加を呼び掛けている	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	・マニュアルは作成されているが周知されていない	・周知できるように工夫する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・防災訓練を実施している	・訓練の様子を保護者にも提示できるような工夫をする
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	・契約時の聞き取りの中で確認している	・一覧表などを活用し把握を行う
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・保護者からの聞き取りでアレルギーを確認する	・医師の指示がない方もいるので指示書を提出するように呼び掛ける
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・その都度、報告を行う	・検討会議などスムーズに取り組めるように連携をとりたい
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・以前は行っていたが最近研修は実施できていない。	・虐待防止の研修会や自己チェック表など取り組んでいきたい
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	・契約時に説明を行っている。	・現在のところ、身体拘束を行った場面はないが、考えられる場面を事前に想定して、説明ができる様に準備して同意を得られる様にする